

目次

はじめに	3
安全上のご注意	3
セキュリティ機能について	4
本書の表記	5
CELSIUS マニュアルの参照	5
1 概要	7
取扱説明書の使いかた	7
本装置について	8
各部の名称と働き	9
2 ソフトウェアのインストール	11
デバイスドライバのインストール	11
MO イジェクトツールのインストール	13
MO Security Tool のインストール	13
DMA モードについて	14
3 使いかた	15
ディスクの入れかた	15
ディスクの取り出しかた	16
4 取り扱いについて	17
本装置の取り扱い	17
ディスクの取り扱い	18
クリーニングについて	20
5 付録	21
主な仕様	21

はじめに

このたびは、光磁気ディスクユニットをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本書は、光磁気ディスクユニット（以降、本製品）の取り扱いの基本的なことからについて説明しています。

ご使用になる前にワークステーション本体の『CELSIUS マニュアル』および本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解した上で正しい取り扱いをされますようお願いいたします。また、本書は大切に保管してください。

2003 年 1 月

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは本装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。



- ・ 梱包に使用しているビニール袋はお子様が入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。
窒息の原因となります。



- ・ 異物（水・金属片・液体など）が装置の内部に入った場合は、ただちにワークステーション本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、弊社担当営業員または担当保守員にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- ・ 手動イジェクト治具や取りはずしたネジは、小さなお子様が悪戯って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



- ・ 本装置をお客様自身で改造しないでください。

感電・火災の原因となります。

セキュリティ機能について

- ・ 本装置を接続したワークステーションの電源をオフにする場合は、必ずセキュリティディスクを取り出すか、または本装置の電源をオフにしてください。

本装置使用時のパスワード認証状態は、本装置およびパスワード認証を行ったセキュリティディスクにより保持されます。

パスワード認証を行った後に、セキュリティディスクを取り出して再セットした場合、および本装置の電源をオフ／オンした場合は、セキュリティディスクをアクセスする前に、再度パスワードを入力してパスワード認証を行ってください。

- ・ ネットワーク環境に接続されたワークステーションに本装置を接続し、本装置を「共有」指定して使用する場合は、本装置を接続したワークステーション上でパスワード認証されたセキュリティディスクの内容は、ネットワーク上の他のワークステーションからもアクセスできます。

ただし、ネットワーク上の他のワークステーションからパスワードを入力してパスワード認証を行うことはできません。

このような環境で使用する場合は、お客様の環境に合わせてネットワーク上のセキュリティ対応をされることをお勧めします。

- ・ 本装置を使用してセキュリティディスクに設定したディスクは、ディスクに記録されたパスワードを入力しないとアクセスできません。

また、セキュリティディスクに設定したディスクは、非セキュリティディスクに戻すことはできません。

- ・ ディスクや本装置の故障、および故意に本装置の内部動作を解析してパスワードを解読してアクセスした場合には、当社は本装置のセキュリティ機能を保証しません。
- ・ 当社は本装置を使用したことにより生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本書の表記

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には次のような意味があります。

記号	意味
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■製品の呼び方について

Microsoft® Windows® XP Professional を、Windows XP と表記しています。
Microsoft® Windows® 2000 Professional を、Windows 2000 と表記しています。
Windows XP、Windows 2000、をまとめて、Windows と表記しています。

■コマンド入力（キー入力）

CD-ROM ドライブのドライブ名を、[CD-ROM ドライブ] で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

[CD-ROM ドライブ] : ¥setup.exe

CELSIUS マニュアルの参照

機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティング、およびカスタムメイドオプションなどの内容は、富士通パソコン情報サイトのビジネス向けホームページ FMWORLD.NET (<http://www.fmwORLD.net/biz/>) 内の『CELSIUS マニュアル』に記載されています。「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「CELSIUS マニュアル」から参照してください。

保証について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年です。
- ・本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。
- ・ワークステーション本体および周辺機器は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。
- ・本製品に関するお問い合わせは、弊社担当営業員または担当保守員までご連絡ください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

Microsoft、Windows、MS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2003

1 概要

取扱説明書の使いかた

本装置をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになったあとは、大切に保存しておいてください。

この取扱説明書は、次の章で構成されています。目的に合わせて、お読みください。

■ 概要

本装置の概要として、特長や各部の名称と働きなどについて説明しています。

■ ソフトウェアのインストール

デバイスドライバ、MO イジェクトツール、および MO Security Tool のインストール方法を説明しています。

■ 使いかた

ディスクの入れかた・取り出しかたについて説明しています。実際にお使いになるときに、お読みください。

■ 取り扱いについて

本装置やディスクの取り扱い上のご注意について説明しています。また、本装置のレンズとディスクのクリーニングについても説明していますので、お使いになる前に必ずお読みください。

■ 付録

本装置の主な仕様について説明しています。

本装置について

■ 特長

本装置には、次のような特長があります。

- ・セキュリティ機能（1.3GB 媒体へのパスワード設定機能）を標準装備（CLC-PD1 は除く）
- ・光磁気記録方式により、何度でもデータの書き込み、消去ができます。
- ・3.5 インチ媒体に最大 640MB ～ 1.3GB と大容量の情報が記録可能です。
- ・高速なデータ書き込みを実現する光変調オーバーライト方式の光磁気ディスクをサポートしています。
- ・回転数が 5,455/3,637rpm（128 ～ 640MB/1.3GB）と高く、Ultra DMA mode 2 に対応しており、高性能です。

□ 使用できるディスク

本装置では、次の直径 3.5 インチ MO ディスクが使用できます。

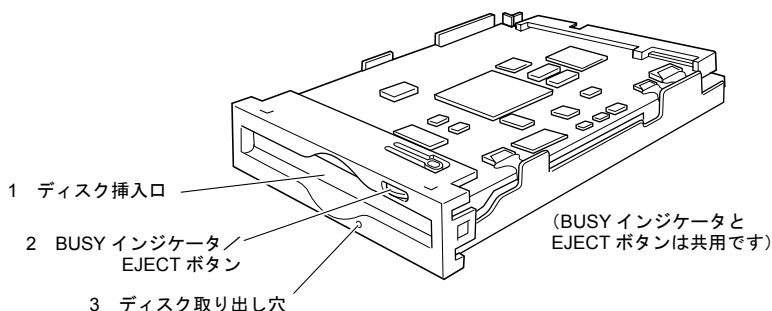
POINT

▶ 総記憶容量は 1MB = 1000 × 1000 バイト、1GB = 1000 × 1000 × 1000 バイトで換算しています。

容量	品名	商品番号	備考
128MB	光磁気ディスクカートリッジ R128	0242110	
230MB	光磁気ディスクカートリッジ MR230	0243210	
	光磁気ディスクカートリッジ MOW230	0243310	オーバーライト媒体
540MB	光磁気ディスクカートリッジ MR540	0243410	
	光磁気ディスクカートリッジ MOW540	0243510	オーバーライト媒体
640MB	光磁気ディスクカートリッジ MR640	0243610	
	光磁気ディスクカートリッジ MOW640	0243710	オーバーライト媒体
1.3GB	光磁気ディスクカートリッジ MR13G	0243810	

各部の名称と働き

■ 前面／上面



1 ディスク挿入口

ここにディスクを入れます。ディスクの入れかたは、「ディスクの入れかた」(●▶ P.15)をご覧ください。

2 BUSY (動作中) インジケータ／EJECT ボタン

・BUSY インジケータの働き

ディスクのデータを読み取ったり、書き込んだりしているときに、緑色に点灯します。また、本装置内が規定温度以上になると、読み書きの動作に関係なく約2秒ごとについたり消えたりを繰り返します。

・EJECT (ディスク取り出し) ボタンの働き

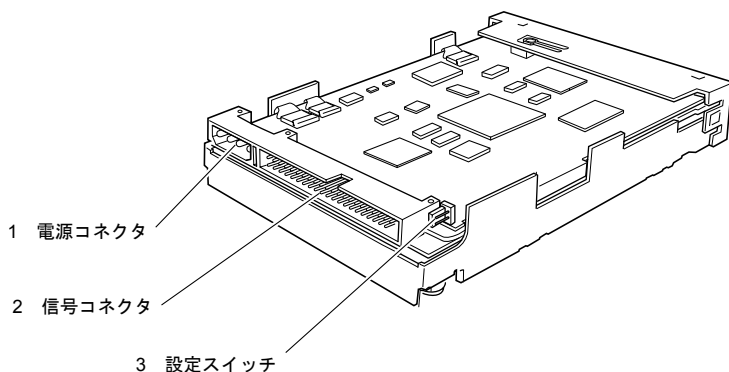
本装置に入っているディスクを取り出すときに押します。

ただし、ソフトウェアでディスクのイジェクト (取り出し) が禁止されている場合は、取り出すことができません。

3 ディスク取り出し穴

万一、ディスクが通常の方法で取り出せなくなったときは、この穴に、付属の手動イジェクト治具を押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。詳しくは、「ディスクの取り出しかた」(●▶ P.16)をご覧ください。

■ 背面



1 電源コネクタ

ワークステーション本体からの電源ケーブルを接続します。

2 信号コネクタ

ワークステーション本体からの信号ケーブルを接続します。

3 設定スイッチ

本装置の接続モード（マスタデバイスモード、スレーブデバイスモード、ケーブルセレクトモード）を設定します。

本装置出荷時はケーブルセレクトモードに設定されており、ワークステーション本体に装着されている信号ケーブルのどのコネクタに接続するかにより、マスタデバイスモード、スレーブデバイスモードが自動的に決まります。

本装置出荷時の設定、接続でご使用ください。

2 ソフトウェアのインストール

本装置の仕様に必要なソフトウェアは、ワークステーション本体に添付されている「ドライバーズ CD」に収録されています。

デバイスドライバ、MO イジェクトツール、および MO Security Tool のインストール方法を記載しています。

MO イジェクトツールはワークステーション購入時にはインストールされていないため、本書の手順にしたがって、インストールしてください。また、リカバリ CD によりハードディスクを初期化した場合、次の手順でソフトウェアをインストールしてください。

デバイスドライバのインストール

本装置を使用する場合は、ご使用のワークステーションの OS 環境に合わせて、デバイスドライバをインストールしてからご使用ください。

本装置を使用できる OS は、Windows XP および Windows 2000 です。

これ以外の OS では使用できません。

□ Windows XP で使用する場合

インストールの前に管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように指定し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥other¥mo¥driver¥xp¥mosupple. msi

この後は、画面に表示されるメッセージに従って、操作を続けてください。

Windows XP 用 MO デバイスドライバの機能および詳細説明については、「ドライバーズ CD」内の「¥Other¥Mo¥Driver¥XP¥Readme.txt」をご覧ください。

注意事項

- MO ディスクにアクセス中やフォーマット中に Windows をシャットダウンしたり、ワークステーション本体をスタンバイまたは休止状態にしないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- 物理フォーマットされていない MO ディスクは認識されません。
- Windows XP の初期設定では、管理者権限を持ったユーザー以外は MO ディスクのフォーマットや取り出しはできません。

他のユーザーが MO ディスクのフォーマットや取り出しを行いたい場合は、次のように操作してください。

1. 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。
2. 「コントロールパネル」→「管理ツール」→「ローカルセキュリティポリシー」を起動します。

3. 「ローカルポリシー」→「セキュリティオプション」→「デバイス：リムーバブルメディアを取り出すのを許可する」の設定を、"Administrators" から "Administrators and Interactive Users" に変更します。

注) 設定変更後、再起動しないと、その設定が反映されないことがあります。その場合は Windows を再起動してください。

- ・ NTFS フォーマットはなるべく使用しないことをお勧めします。

以下のような不具合があります。

- ライトプロテクトした場合、アクセスできません。
- 本装置のイジェクトボタンでは取り出せません。MO ドライブのアイコンを右クリックし、「取り出し」をクリックして取り出してください。

□ Windows 2000 で使用する場合

インストールの前に管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

1 「ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」を次のように指定し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]: ¥Other¥mo¥driver¥2k¥mosupple. msi

この後は、画面に表示されるメッセージに従って、操作を続けてください。

インストールが正常に終了した後、Windows 2000 を再起動するとデバイスドライバが有効になります。

Windows 2000 用デバイスドライバの機能および詳細説明については、「ドライバーズ CD」内の、「¥Other¥Mo¥Driver¥2k¥Readme.txt」をご覧ください。

注意事項

- ・ MO ディスクにアクセス中やフォーマット中に Windows をシャットダウンしたり、ワークステーション本体をスタンバイまたは休止状態にしないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- ・ 物理フォーマットされていない MO ディスクは認識されません。
- ・ Windows 2000 の初期設定では、管理者権限を持ったユーザー以外は MO ディスクのフォーマットや取り出しはできません。
他のユーザーが MO ディスクのフォーマットや取り出しを行いたい場合は、次のように操作してください。

1. 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。

2. 「コントロールパネル」→「管理ツール」→「ローカルセキュリティポリシー」を起動します。

3. 「ローカルポリシー」→「セキュリティオプション」→「リムーバブル NTFS メディアを取り出すのを許可する」の設定を、"Administrators" から "Administrators and Interactive Users" に変更します。

注) 設定変更後、再起動しないと、その設定が反映されないことがあります。その場合は Windows を再起動してください。

- ・ NTFS フォーマットはなるべく使用しないことをお勧めします。

次のような不具合があります。

- ライトプロテクトした場合、アクセスできません。

- 本装置のイジェクトボタンでは取り出せません。MO ドライブのアイコンを右クリックし、「取り出し」をクリックして取り出してください。

MO イジェクトツールのインストール

MO イジェクトツールは Windows が次の状態に移行するときに、自動で媒体を排出させるツールです。セキュリティメディア使用時のトラブルや、媒体排出忘れなどを回避するためにも、インストールし、自動排出することをお勧めします。

・媒体を排出する条件

再起動／終了／ログオフ／スタンバイ／休止状態／ユーザー（アクセス権限）の切り替え

POINT

- ▶ スタンバイおよび休止状態は、Windows XP/2000 の機能です。
- ▶ ユーザーの切り換えは、Windows XP の機能です。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン－「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」を次のように指定し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥other¥mo¥eject¥nt_2k_xp¥setup.exe

この後は、画面に表示されるメッセージに従って、操作を続けてください。

「Windows XP/2000 用 MO イジェクトツール」の機能および詳細については、「ドライバーズ CD」内の「¥Other¥Mo¥Eject¥NT_2k_XP¥README.TXT」をご覧ください。

MO Security Tool のインストール

MO Security Tool はディスクに対してパスワードによるアクセス制限をかけるものです。

ご使用に際しては、「ドライバーズ CD」内の「¥Other¥Mo¥Security¥Security.pdf」をご覧ください。なり、ご理解した後にご使用ください。

POINT

- ▶ CLC-PD1 はセキュリティ機能に未対応です。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン－「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」を次のように指定して「OK」をクリックします。

■ Windows XP の場合

[CD-ROM ドライブ]:¥other¥mo¥security¥xp¥setup.exe

■ Windows 2000 の場合

[CD-ROM ドライブ]:¥other¥mo¥security¥9x_2k_me¥setup.exe

この後は、画面に表示されるメッセージに従って、操作を続けてください。

「Windows XP/2000 用 MO Security Tool」の機能および詳細については、「MO Security Tool」の中のヘルプ画面および「ドライバーズ CD」内の「¥Other¥Mo¥Security¥Security.pdf」をご覧ください。

DMA モードについて

本装置はインタフェース上のデータ転送モードとして、DMA（Direct Memory Access）モードで動作する機能を持っています。

DMA モードで動作させると、データ転送時の CPU の負荷を少なくすることができます。

本装置を DMA モードで動作させるには、デバイスマネージャの画面で「DMA」をオンに設定してください。

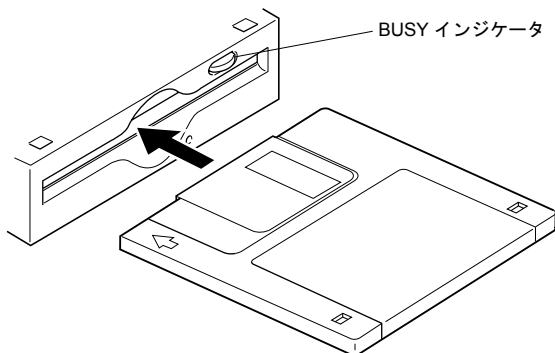
なお、ワークステーションの機種によっては上記設定の他に、ワークステーションの BIOS の設定で DMA モードの設定が必要な場合があります。

ワークステーションの DMA の設定および BIOS の設定については、『CELSIUS マニュアル』をご覧ください。

3 使いかた

ディスクの入れかた

- 1 ワークステーション本体を起動します。
- 2 矢印のついた面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込みます。



- 3 ソフトウェアを使って、ディスク上のデータを読み取ったり、書き込んだりします。

読み取り／書き込み中は、BUSY インジケータが点灯します。

POINT

- ▶ 本装置はパワーセーブ機能をもっており、約 30 分間アクセスがない場合、ディスクの回転を停止させています。
したがって、その後の最初のアクセスに対しては、ディスクの回転立ち上げ（約 8 ～ 12 秒）のために、応答までの時間が長くなります。

ディスクの取り出しかた

ディスクは次のどちらかの方法で取り出すことができます。

1. Windows 上で MO ドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューの「取り出し」を実行する
2. 光磁気ディスクユニットの前面にある「EJECT ボタン」を押す

Windows 起動状態でディスクを取り出すときは、トラブルを避けるためにも 1 の方法で取り出すことをお勧めします。

POINT

- ▶ ディスクのデータの読み取り、書き込みにより BUSY インジケータが点灯している間は、ディスクを取り出さないでください。点灯している間に取り出すと、データが正しく書き込まれなかったり、ディスクのデータが消えてしまったりすることがあります。
- ▶ 本装置はディスクを取り出すときに、ディスクを先端から約 2cm 引き出した位置で、引き出す力が強く必要になることがあります。
これはディスクイジェクト動作時に、ディスクが本装置から飛び出してしまうのを防ぐための動作であり、故障ではありません。

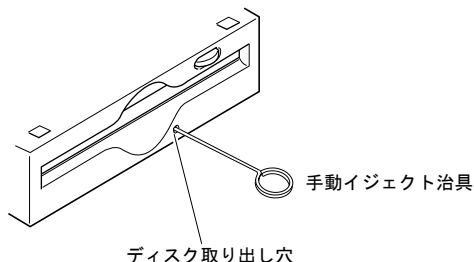
■ディスクが取り出せない場合は

次のような場合は、EJECT ボタンを押してもディスクが取り出せないことがあります。

- ・ソフトウェアでディスクのイジェクトが無効に設定されているとき
- ・本装置が故障したとき
- ・ワークステーション本体にトラブルが生じたとき
- ・停電などで本装置の電源が入らないとき

この場合は、次のようにしてディスクを取り出します。

- 1 ワークステーション本体の電源を切ります。
- 2 付属の手動イジェクト治具を、ディスク取り出し穴にまっすぐに押し込みます。



4 取り扱いについて

本装置の取り扱い

■ 万一の故障を防ぐために

□ 衝撃・振動を与えないでください

落としたりして強い衝撃を与えると、故障することがあります。

□ 設置場所

次のような場所で、使用したり保管したりしないでください。

- ・ 湿気の多い所や乾燥している所
- ・ ほこりの多い所
- ・ 極度に高温や低温な所
- ・ 激しい振動のある所
- ・ 直射日光の当たる所
- ・ 不安定な所
- ・ 温度変化の激しい所

また、保管する場合は、プリント基板面を上に向けてください。

□ 通風

本装置内部の温度上昇を防ぐため、動作中に布などで包んだり、空気の流通の悪いところに置いたりしないでください。本装置内部が高温になると、動作しなくなる場合があります。

□ 急激な温度変化は避けてください

寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げたりしたときは、本装置内部に結露が起こる場合があります。急激な温度変化があった直後は使わずに、1 時間以上待ってからお使いください。結露が起きたままディスクを入れると、本装置やディスクが損傷することがあります。結露が起きている可能性があるときは、すぐにディスクを取り出してください。

□ ディスクを入れたまま移動しないでください

使わないときは、ディスクを必ず取り出しておいてください。ディスクを入れたまま、ワークステーション本体を持ち運んだりしないでください。

また、使用中は、ディスクが高速で回転しています。このとき、本装置を動かすと動作が不安定になったり、ディスクを傷つけたりするおそれがあります。ディスクを取り出してから、移動してください。

□ 異常がおきたら

万一、異常や不具合が生じた場合は、ワークステーション本体の電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、弊社担当営業員または担当保守員にご相談ください。

■ その他ご注意いただきたいこと

□ 雑音電波について

本装置は高周波の信号を扱うため、ラジオやテレビ、オーディオチューナーなどに雑音が入ることがあります。この場合は、距離を少し離してご使用ください。

□ 前面パネルが汚れたら

前面パネルの汚れは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。アルコール／シンナー／殺虫剤など、揮発性の溶液剤は使用しないでください。表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

□ 長時間連続で使用する場合の寿命について

本製品には、有寿命部品（モータ等）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。

□ 高温環境で使用する場合について

本装置を搭載したワークステーションを高温環境で使用する場合、大切なデータを失わないために本装置の温度センサが働き、動作が遅くなることがあります。

ディスクの取り扱い

■ 取り扱い上のご注意

- ・ MO ディスクに書き込み動作（コピー等）をしているときは、画面上でファイルの転送が終わってもその後しばらくの間、MO ディスクにデータの書き込みが行われます。（本装置全面の BUSY インジケータが点灯しています）
この場合、BUSY インジケータが点灯している間は、本装置のイジェクトボタンを押したり、取り出しメニューをクリックしたりすることは絶対にしないでください。書き込みデータが保証されなくなることがあります。
- ・ ディスクに激しい振動を与えたり、落としたりしないでください。
- ・ ディスクは、工場出荷時に精密に調整されていますので、分解しないでください。
- ・ ディスクは、本装置に挿入すると、自動的にシャッタが開く自動装填式です。ディスクのシャッタを手で開けて、内部に触れないでください。
- ・ 温度差の激しい所や湿気の多い所では使わないでください。結露が起こって、データの書き込み・読み取りができなくなる場合があります。
- ・ 必要以上に、ディスクを本装置に出し入れしないでください。
- ・ ディスクのラベルは、端がはがれないように貼ってください。また、ラベルを重ねて貼らないでください。本装置から取り出せなくなる原因になります。
- ・ 使い終わったら、必ず本装置からディスクを取り出しておいてください。また、持ち運ぶときには必ずケースに入れてください。

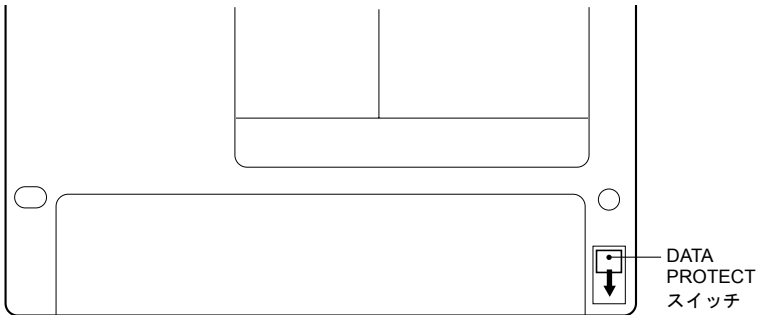
□ ディスクの保管について

- ・ ディスクは、ケースに入れて保管してください。
- ・ 自動車のダッシュボードやトレーは高温になることがありますので、ディスクを絶対に放置しないでください。
- ・ 次のような場所に保管しないでください。
 - ほこりやちりの多い所
 - 直射日光の当たる場所
 - 暖房器具の近く
 - 湿気の多い所

□ ディスクのデータを守るために

ディスクには、ディスクのデータを誤って消したり、不要なデータを書き込んだりするのを防ぐための DATA PROTECT スイッチ（黒いつまみ）がついています。このスイッチを矢印の方向（下）にスライドさせておくとディスクのデータを読み出すことはできますが、書き込むことができなくなります。スイッチを元に戻すと、再び書き込むことができるようになります。

書き込む必要のないディスクは、スイッチを矢印方向にスライドさせておいてください。



クリーニングについて

POINT

- ▶ レンズおよびディスクのクリーニングを定期的に行うようにしてください。データを正常に読み書きできなくなることがあります。

■ レンズのクリーニング

本装置は、データを書き込んだり、読み取ったりするために、光学レンズを使用しています。レンズがほこりやごみなどで汚れていると、正常なデータの書き込み・読み取りができない場合があります。このようなことを防ぐために、ヘッドクリーナで定期的にクリーニングを行う必要があります。本装置の性能を維持するために、3ヵ月に一度はクリーニングしてください。

□ 使用できるヘッドクリーナ

光磁気ディスククリーニングカートリッジ（サプライ商品番号：0240470）（別売）をお使いください。クリーニングのしかたは、クリーニングカートリッジの使用説明をご覧ください。

■ ディスクのクリーニング

ディスクを長い間使用すると、ディスク上にはこりや汚れが付着し、データを正常に読み書きできなくなる場合があります。このようなことを防ぐために、ディスククリーニングキットでクリーニングを行う必要があります。

ディスクの性能を維持するために、3ヵ月に一度はクリーニングしてください。

□ 使用できるクリーニングキット

光ディスククリーニングキット（サプライ商品番号：0632440）（別売）をお使いください。クリーニングのしかたは、クリーニングキットに付属の使用説明書をご覧ください。

主な仕様

POINT

- ▶仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- ▶フォーマット時の容量を1MB=1000×1000バイト、1GB=1000×1000×1000バイトで換算しています。

	CLC-PD1/CLC-PD2				
記憶媒体	128MB	230MB	540MB	640MB	1.3GB 注
セクタ容量	512bytes			2048bytes	
回転制御方式	CAV	ZCAV			
回転数	5,455rpm				3,637rpm
平均回転待ち時間	5.5msec				8.2msec
平均シーク時間	23msec				
Buffer 容量	約 2MB				
ロード時間	8sec				12sec
アンロード時間	4sec				
最大転送速度	PIO mode4(16.6MB/s) UltraDMA mode2(33.3MB/s)				
インタフェース	ATAPI				

注：CLC-PD2のみ

CELSIUS Workstation Series
光磁気ディスクユニット追加
(ATAPI) (CLC-PD1)
光磁気ディスクユニット追加 -1.3GB
(ATAPI) (CLC-PD2)
取扱説明書

B5FH-7331-01-00

発行日 2003 年 1 月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。